

令和7年度地域居住サポート事業所なごみ地域連携推進会議議事録

1 日時

令和7年12月10日(水) 10:00～11:05

2 場所

障がい者活動センターやまもも第1 多目的室

3 出席者(敬称略)

(1) 地域連携推進員

利用者	I(グループホーム 利用者)
利用者家族	Y(グループホーム 利用者家族)
地域の関係者	西尾 和男(知多市新知地区住民)
福祉の知見者	天竺 芳樹(社会福祉法人さつき福祉会 居宅事業部 管理者)
行政担当者	中田 謙登(知多市福祉課)

(2) 事務局

矢野 明彦(地域居住サポート事業所なごみ 管理者)
安倍 正志(地域居住サポート事業所なごみ
サービス管理責任者)
住吉 加奈恵(地域居住サポート事業所なごみ
生活支援員)

4 議題

- (1) 地域連携推進会議の概要について
- (2) 知多福祉会について
- (3) グループホームについて

5 配付資料

- (資料1) 地域連携推進会議の概要
- (資料2) 社会福祉法人 知多福祉会 事業概要
- (資料3) 地域居住サポート事業所なごみ(グループホーム)事業紹介

6 議事

(1) 地域連携推進会議の概要について →(資料1)にて説明

- ・ 地域連携推進会議について、目的、内容、構成員の役割や施設見学のポイントを説明

<質疑応答>

(推進員・Y)グループホームの見学について、今後は利用者や世話人がいる時間に見学することになっていくのか。

(事務局)2回目以降は、開催時間等を調整するなどして実施する予定

(推進員・西尾)これまでに近隣住民とのトラブルはあったか。

(事務局)現在までトラブルはない。

トラブルにはなっていないが、SORA育園の送迎の時間と利用者の登降所する時間と重なっている。保育園からも注意喚起しているようだが、一部の保護者は安全でない速度で通過することがあり、危険を感じている。

(推進員・天竺)今回予定している施設見学は、すべてのグループホームを回るのか。

(事務局)すべてのグループホームを見学する予定としている。

(2) 知多福祉会について →(資料2)にて説明

- ・ 法人の構成と歴史について、ふれあいの里開所から現在までを説明
- ・ 現在のサービス提供事業について、障害者支援センターを中心に説明

<質疑応答>

- ・ なし

(3) グループホームについて →(資料3)にて説明

- ・ 現事業所の概要及び構成並びに各ホームの特徴について
- ・ 課題と改善への取り組みについて、令和6年4月の「虐待通報」や「処方薬の紛失」を挙げて取り組みを報告

<質疑応答>

(推進員・天竺)法人内グループホーム(地域居住サポート事業所なごみ)に入居している人は、法人の全利用者の何割にあたるのか。また、法人外のグループホームを利用している人は何割にあたるのか。

(事務局)法人内のグループホームに入居しているのは、全体のおよそ4分の1。法人外のグループホームに入居している人を合わせても、全体の半分にも満たない。

(推進員・天竺)365日間利用している人は何人か。
(事務局)4名

(推進員・西尾)かもめホームは現在どうなっているのか。
(事務局)建物の老朽化、海が近く津波等の災害時に安全の確保が難しいことや、他の事業所から離れており、緊急時の対応できない。また、世話人の確保が十分にできないなどの理由で、令和7年3月末に閉所した。

(推進員・天竺)男性のみ、女性のみ、男女混合のグループホームがあるが、選考基準はどうなっているのか。
(事務局)基本的には、男女を分けている。男女混合のグループホームについては例外。女性の利用者は高齢で、週末に帰宅するため、安全に利用できると判断している。

(推進員・中田)処方薬を紛失した事故への対応の内容について、マニュアルの確認と遵守を指示した関係職員とは、どこまでの範囲か。
(事務局)現在のところは、事故の起きたユニットで勤務する世話人全員に事故の振り返りとマニュアルの再確認を行い、徹底を指示した。今後は、各ユニットで行う世話人会議において、情報を共有していく。

(推進員・西尾)現在、入所を希望している利用者はどれくらいいるか。また希望に合わせて増設の予定はあるか。

(事務局)現在、法人のグループホームの利用を希望している人は数名で、そのほとんどが将来の生活の場としてグループホームを希望している人である。増設については、今のところ予定はない。

(推進員・Y)法人内のグループホームは365日利用でないため、高齢の親にすると選択肢にはならない。市内に日中支援型等の365日対応できるグループホームが社会資源として少ないことが課題の1つとなっている。

(推進員・中田)福祉課の窓口においても、障害のある方の家族から相談はあり、介護保険の対象となる人もいる。本人の安定した生活が維持できるよう必要に応じて障害福祉サービスの支給については検討する。市内において、グループホームの参入が進んで社会資源が増えることに期待している。

(推進員・西尾)「知多市障がい福祉計画」に具体的な推進計画を入れるなどを希望する。

(推進員・Y)事業所の不足も課題だが、世話人等の人材が不足していることも大きな課題となっている。

(推進員・西尾)外国人を労働力として受け入れているのか。

(事務局)地域居住サポート事業所なごみでは、2人の外国人が世話人として働いている。世話人同士がサポートし合いながら、利用者支援では機能しているが、文書での情報共有や記録の取り方などで、外国人に対応した業務改善ができていない。

(推進員・天竺)家賃などの自己負担額はどれくらいか。食材の高騰への対応はどうしているか。

(事務局)グループホームによって異なるが、食費や日用品費、水光熱費などすべて含めて50,000～60,000円/月。ユニット型のホームでは、食材を一括で購入して、足りない部分は分け合ったり、余るときは繰り越したりして工夫している。

(推進員・中田)利用者の小遣いなどの金銭管理は、どのように行っているのか。

(事務局)鍵付きの場所で管理している。お金の出し入れは世話人が行っており、記録をつけて管理している。また、金額が大きくならないように、足りなくなったときに保護者や後見人に連絡し、その都度用意してもらっている。

以上